科目基礎	,/\\\\	専門学校	₹ 開講年度 令和04年度(2	2022年度)	授業科目					
	禁情報	/	1 1000 1/2 12/100 1 1/2 (2		~~~\\					
科目番号	ACTIOTIC .	R04S53		科目区分	専門 / 選抜	7				
授業形態		授業	,1	単位の種別と単位数	履修単位:					
開設学科		情報工		対象学年	5	-				
開設期		後期		週時間数	2					
教科書/教	·····································	よくわた		1		テム技術協会,技術評論社				
担当教員	.,,,	井上優	5組込みシステム開発入門 要素技術から開発プロセスまで,組込みシステム技術協会,技術評論社							
到達目標										
(1) 組込み (2) 組込み (3) 組込み (4) ソフト	みシステムの みCPUについ みシステムの トウェアの開)て説明でき)オペレーラ	要を述べることができる. (定期試験, 詩きる. (定期試験, 課題) ティング・システムについて述べること Dいて述べることができる. (定期試験,	ができる. (定期試験,	課題)					
ルーブリ	ノック		四相的大型表上 公儿 の日ウ	(無)体がたないきし かけ		+ 70 年 1 0 日 中				
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安 組込みシステムの租場と概要を述				
評価項目1	1		組込みシステムの現状と概要を詳細に述べることができる.	組込みシステムの現状と概要を述べることができる.		組込みシステムの現状と概要を述 べることができない.				
=====================================	<u> </u>		組込みCPUについて詳細に説明で			組込みCPUについて説明できない				
評価項目2			*	組込みCPUについて	説明できる.					
評価項目3			組込みシステムのオペレーティング・システムの詳細について述べることができる.	組込みシステムのオ グ・システムについ ができる.	ペレーティン て述べること	組込みシステムのオペレーティン グ・システムについて述べること ができない.				
評価項目4	 4		ソフトウェアの開発技法について	ソフトウェアの開発	_ 技法について	ソフトウェアの開発技法について				
		E	詳細に述べることができる。	述べることができる	•	述べることができない.				
学習・教育	到達目標項 育目標 (B2) .2(d)(1) JA									
教育方法	_ <u></u>									
概要 授業の進め方・方法		(科目情 教育プロ (1)組設 (2)組設 (3)組設 (4)ソフ (事前等	現在、身の回りにある電気製品には、コンピュータが組み込まれている。このコンピュータを介した機器の制御などを行うシステムを組込みシステムという。この組込みシステムをハードウェア・ソフトウェアの両面から解説する。 (科目情報) 教育プログラム 第2学年 〇科目 (1) 組込みシステムの現状と概要を述べることができる。(定期試験、課題) (2) 組込みCPUについて説明できる。(定期試験、課題) (3) 組込みシステムのオペレーティング・システムについて述べることができる。(定期試験、課題) (4) ソフトウェアの開発技法について述べることができる。(定期試験、課題) (事前学習) 電子回路、コンピュータアーキテクチャ、ハードウェア設計演習を復習しておくこと。							
講義の 注意点 (自学- 復習を 組込み			tの注意) 途中でもわからなくなったらすぐに質問すること. tの注意) 行うこと. システムが用いられていると想像できる機器に対して,日常生活から注意を払い,その概念モデルを構築できる 努めること.							
評価										
(総合評価 総合評価)	価) = (定期試 得の条件)		× 0.7 + (課題, 小テスト) × 0.3							
(単位修修総合評価を (再試験に総合評価が 総合評価が 授業の原	について) が60点未満の 属性・履修	の者に対し		1	⁷ ナウンスする					
(単位修修総合評価を (再試験に総合評価が 総合評価が 授業の原	について) が60点未満の	の者に対し	て実施する場合がある. 受験資格者につ	Oいては試験解説時にフロック	^ァ ナウンスする					
(単位修4 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原□ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し	て実施する場合がある. 受験資格者にて	1	⁷ ナウンスする					
(単位修4 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し <u>多上の区分</u> シグ	て実施する場合がある. 受験資格者につ } □ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
(単位修4 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し <u> 多上の区分</u> ング	て実施する場合がある. 受験資格者につ	☑ 遠隔授業対応	ごとの到達目標	□ 実務経験のある教員による授業				
(単位修復 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し <u>多上の区分</u> シグ	て実施する場合がある. 受験資格者につ } □ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応 週2	ごとの到達目標	□ 実務経験のある教員による授業				
(単位修復 総合評価6 (再試験に 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し <u> 多上の区分</u> ング	て実施する場合がある. 受験資格者につ	☑ 遠隔授業対応 週ご 組設 組設	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る				
(単位修復 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し 多上の区分 ング 週 1週	て実施する場合がある. 受験資格者につける ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週こ 組設 組設	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる				
(単位修4 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し <u>多上の区分</u> こング 週 1週 2週	て実施する場合がある. 受験資格者につける☑ ICT 利用授業内容組込みシステム概論組込みシステム概論	図 遠隔授業対応 週2 組設 組設 ママ	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの 込みシステムの ころを説明で	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる				
(単位修4 総合評価6 (再試験1 総合評価が 授業の原 □ アクテ	について) が60点未満の 属性・履修 ティブラーニ	の者に対し 多上の区分 シング 週 1週 2週 3週	て実施する場合がある. 受験資格者につけるプロ ICT 利用授業内容組込みシステム概論組込みシステム概論マイコン	図 遠隔授業対応 週ご 組設 組設 と シリ	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの 込みシステムの ころを説明で	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる				
(単位修行総合評価係 会再試験に 総合評価が 授業の原 □ アクラ	について) が60点未満は 属性・履修 ディブラーニ	の者に対し 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週	て実施する場合がある. 受験資格者につけるプロ ICT 利用授業内容組込みシステム概論組込みシステム概論マイコンマイコンの周辺機能	図 遠隔授業対応 週ご 組設 組設 と シリ PW 組設 割設	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの この この この この この この この この この こ	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる Jを説明できる できる エストスイッチを説明できる				
(単位修行総合評価係 会再試験に 総合評価が 授業の原 □ アクラ	について) が60点未満は 属性・履修 ディブラーニ	の者に対し 多上の区分 ング 週 1週 2週 3週 4週 5週	て実施する場合がある. 受験資格者につけます。 □ ICT 利用 □ ICT N	図 遠隔授業対応 週2 組設 組設 2マー シリ PW 組設 割設	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの このいまで このい このいまで このい このいまで このいまで このいまで このいまで このいまで このいまで このいまで このいまで このいまで	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる Jを説明できる				
(単位修行総合評価係 会再試験に 総合評価が 授業の原 □ アクラ	について) が60点未満は 属性・履修 ディブラーニ	の者に対し 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	 て実施する場合がある. 受験資格者につき □ ICT 利用 授業内容 組込みシステム概論 組込みシステム概論 マイコン マイコンの周辺機能 マイコンの周辺機能 組込みOS 	図 遠隔授業対応 週2 組設 組設 マン シリ PW 組設 スクで	ごとの到達目標 Nかシステムの Nかシステムの イコンを説明で リアル通信, GI M, DMA, MMI NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で	□ 実務経験のある教員による授業開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる Jを説明できる できる キストスイッチを説明できる				
(単位修行総合評価係 総合評価係 (総合評価が 授業の原 □ アクラ	について) が60点未満は 属性・履修 ディブラーニ	の者に対し 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	 て実施する場合がある. 受験資格者につき ☑ ICT 利用 授業内容 組込みシステム概論 組込みシステム概論 マイコン マイコンの周辺機能 マイコンの周辺機能 組込みOS 組込みOS 	図 遠隔授業対応 週2 組設 組設 マン シリ PW 組設 スクで	ごとの到達目標 Nかシステムの Nかシステムの イコンを説明で リアル通信, GI M, DMA, MMI NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で NOSを概説で	□ 実務経験のある教員による授業 開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる Jを説明できる できる エストスイッチを説明できる				
(単位修修総合評価を (再試験に総合評価が 総合評価が 授業の原	について) が60点未満は 属性・履修 ディブラーニ	の者に対し 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	 て実施する場合がある. 受験資格者につき □ ICT 利用 授業内容 組込みシステム概論 組込みシステム概論 マイコン マイコンの周辺機能 マイコンの周辺機能 組込みOS 	図 遠隔授業対応 週ご 組設 組設 マンシリ PW 組設 スプラ	ごとの到達目標 込みシステムの 込みシステムの イコンを説明で リアル通信, GI M, DMA, MMI 人外OSを概説で 人処理, コンテス でる こり監理, 排他	□ 実務経験のある教員による授業開発の現状を知る 多様性と分類を知る 制御を説明できる きる PIO, A/D, D/A変換を説明できる Jを説明できる できる キストスイッチを説明できる				

	12週	通信サービス		インターネット, プロトコル, 無線通信について説明 できる						
	13週	組込みネットワー	-ク		LPWA, RFID, CANについて説明できる					
	14週	組込み開発	且込み開発			組込み開発について概説できる				
	15週	後期末試験								
	16週	後期末試験の解答	答と解説		試験でわからなかった部分を把握して理解する.					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	票			到達レベル 授業週			
評価割合										
		試験		課題		合計				
総合評価割合		70		30		100				
基礎的能力		30		10		40				
専門的能力		40		20		60				
分野横断的能力		0		0		0				